

全ての事業活動の基本として、
安全・安心を最優先しています



当社は、安全・安心を最優先に、 電力の安定供給に努めています。

2015年8月、九州本土を縦断した台風15号の影響で、倒木や飛来物などによる送配電線の切断などが相次ぎ、熊本県、鹿児島県を中心に最大47万戸が停電しました。



被害の大きかった地域に、九州各県から委託先等含め最大約8,600人を動員。全社を挙げて復旧作業にあたりましたが、道をふさぐ倒木の撤去などに時間を要し、停電発生から高圧配電線への送電完了までに、5日間を要しました。

■皆さまから温かいお言葉をいただき、本当にありがとうございました。

台風15号では復旧が長引き、長時間にわたり停電しご迷惑をおかけしたこと、深くお詫び申し上げます。

台風15号被害の復旧作業では、たくさんのお客さまから作業員への励ましや感謝のお言葉をいただきました。また、鹿児島県の地元ラジオ局「FMさつませんだい」をはじめ、当社Facebookにも、応援・励ましのメッセージが多数寄せられ、復旧作業に携わった全ての社員が、温かいお言葉に勇気づけられました。



?

この他に
どのような取組みを
行っているの？

詳しくは裏面へ

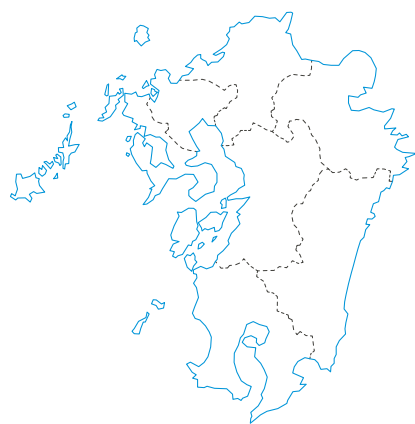
災害時や災害発生が予想される場合には、 非常災害対策組織を設置し、協力会社や 行政機関と連携して、迅速な停電復旧に努めています。

□永良部島新岳噴火への対応

2015年5月29日、鹿児島県の□永良部島にある新岳が噴火し、島民の全島避難となりました。発電設備への被害はなかったものの、帰島判断に必要な火山観測装置への電力供給のために、定期的に島に渡って発電所のメンテナンスや燃料補給を行い、発電を続けてきました。

一方で、台風や大雨の影響により電柱や電線に被害を受け、全島停電が複数回発生したことから、そのたびに、当社や協力会社の社員が島に渡り作業を行いました。

(入島回数:30回、延べ236人が入島)



□永良部島 →
・面積:約36km²
・人口:136名(全島避難時)



作業にあたっては、安全確保のための渡航規制や島内滞在時間の制約、悪天候による渡航延期などで時間を要しましたが、一部制限区域を除き、12月2日に全ての復旧作業が完了しました。

12月25日、全島避難は解除され、帰島された島民の皆さまへ電気をお届けすることができました。

協力会社や行政機関とサポート 体制を築き復旧作業を行いました。

半年間に及ぶ□永良部島の復旧にあたっては、当社や協力会社など、合わせて延べ230名を超える作業員が入島し、配電設備の復旧作業や発電設備のメンテナンスなどを行いました。入島の際には、消防や警察、自治体などと連携し、サポート体制を築いたうえで、作業に従事しました。

全島避難は解除されましたが、今後も、関係各所と協力しながら、島のライフライン確保に努めていきます。

全ての島民の皆さまが、一日でも早く日常生活に戻られますことを心より願っております。

